



「憲法『改正』やめよ」の声大きく！！

今年は晴れたぞ！ 『2013年 憲法フェスティバル』 1300人余が参加！

水戸市のはなみずき公園（千波湖畔）で開催された「2013年憲法フェスティバル」は、快晴に恵まれ、1300人余が参加し、さまざまな交流が行われました。

「このまま進んで大丈夫？ 私たちのいのち・暮らし」をテーマで、県内各地で9条を守る活動を行っている9条の会の交流会、広場企画では「アベノミクスと消費税」「TPPから暮らしを考える」、若者を中心に「若者ナウ」等の幅広い交流が行われました。

県平和委員会は「憲法9条『改正』を考える」をテーマに、テントでパネルを展示しました。日本国憲法前文や、9条をテン

ト前面の展示は非常に好評でした。また「日本国憲法と自民党憲法改正草案を比較した冊子を作成、90部普及しました。

午後にはいり、水戸工業ジャズバンドの演奏や水戸藩YOSAKOI連の「よさこいソーラン」の演技、主催者あいさつのあと、前泊博盛氏による「基地・オスプレイはいらないー伝えたい 沖縄と日米安保の真実」の記念講演がありました。

第3回憲法川柳では平和委員会会員の入選も多く、そのなかで常陸太田平和の会の福田亘さんの句が優秀作品の3点の一つに選ばれました。『祖父(じい)アンボ 孫TPPで日本(くに)を売る』

13回目を迎えた今年の憲法フェスティバル

記念講演に 前泊 博盛さん (元琉球新報論説委員長、 沖縄国際大学教授) を招いて



【記念講演を行った前泊博盛氏】

「オスプレイの飛行訓練ルートが日本全土にわたりはりめぐらされ、米軍に蹂躪されているのに、アメリカの意向に逆らえない日本政府。日本は自立国家といえるのでしょうか。」
沖縄と日米安保の真の姿を訴えかけ、沖縄の抱える問題・課題を問いました。



【平和委員会展示パネルのテントの前で】



【9条の会交流ブース。各地の活動交流】



【水戸工業高校ジャズバンド BLUE BEGINNERS の演奏には会場からも手拍子が】

【「アベノミクスと消費税」100人以上の人が話しに聞き入る】



【水戸藩YOSAKOI連のよさこいソーランは会場が一体に】



【若者なう！仕事・夢・不安・恋愛、話はつきません。】

【なぜ冤罪がなくなる？ 国民救援会のテント】



【憲法川柳：優秀作の表彰式】

歓迎！新入会員のみなさんです。
よろしくお願ひします。
.....

○ 佐竹 素子 さん (潮来市)

*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

平和新聞

2013年5月5日・15日 合併号
2016号 (毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版 No. 654 合併号
2013.5/5,15

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

県平和委員会定期大会の準備すすむ

各地域は会議を開催し、意見の集約と役員・代議員の選出を！！

2013年度県平和委員会定期大会は、グリーンパレス石岡で6月16日（日）、10時から開催されます。

安倍首相が異常な興奮状態で「96条改悪」を叫び、国民生活を根底から破壊するTPP参加を強行し、原発を推進し、危険なオスプレイの低空飛行訓練が全国いたる所で行われるような情勢の中で開催されます。特に憲法96条の改悪は、憲法「改正」論者の中からも、「憲法が憲法でなくなる。許すわけには」という批判すら出てくるひどいものです。

私たち平和委員は、これまで草の根からの平和運動を展開してきました。今後さらに主権者である国民の権利を擁護し、平和的な生活を営む権利を拡充するためにも取り組みの強化が重要です。

定期大会開催までのプロセス

◆常任理事会 5月11日（土）午後1時から
赤塚駅前「ミオス」

- ・大会議案の骨子を討議します。大まかに示すと、①取り組みの総括 ②12年度決算 ③13年度方針 ④13年度予算 ⑤具体的な取り組み ⑥役員改選 等です。

ジャーナリスト 伊藤千尋氏 講演会

～基地や原発ではなく 平和と自然エネルギーを！～

「戦闘」より「銭湯」を！！

講師：伊藤千尋氏（ジャーナリスト）
 とき：6月15日（土）午後1時開場 1時半開演
 ところ：笠間公民館大ホール（笠間市石井 2068-1）
 資料代：500円



九条の会・かさま
 母親大会笠間実行委員会

連絡先：田口0296-74-4701 平山（保育受付も）0299-45-2936
 高田 0299-45-6454 吉岡（保育受付も）0296-72-7364



◆理事会 6月2日（日）午後1時から 石岡グリーンパレス

- ・常任理事会出た意見をもとに作成した大会議案のたたき台を討議します。ここで出た意見をもとに推敲し、「大会議案」ができます。

◆「理事」は地域で選出、代表・常任理事・事務局長は第1回理事会で互選する。

なお「理事」は各地域で選出します。また、代表理事・常任理事・事務局長は、大会当日に開催される「第1回・理事会」で、理事によって「互選」されます。

◆各平和の会・平和委員会は会議をもち、話し合いをすすめよう

地域では、理事・大会代議員の選任、年間活動のまとめ、13年度方針等を作成します。

憲法九条土浦の会 結成8周年 記念講演会

アフガンからの報告

～日本の平和憲法の心が生きた国際貢献～

講師：中村 哲 医師（ベシャワール会現地代表）
 とき：5月26日（日）開場 13:00 開演 14:00
 ところ：土浦市民会館大ホール
 入場料：大人：1,000円（当日 1,300円）
 高校生：300円

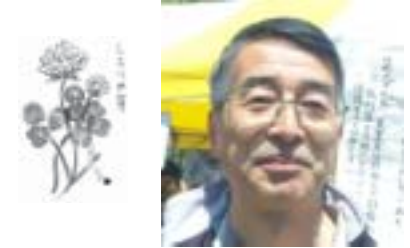
後援：土浦市
 主催：憲法九条土浦平和の会の会

連絡先：福田勝夫（090-3537-2632）
 真山策功（090-3817-8584）

[シリーズ] わが街・わか会員

土浦市 / 片岡 英明さん（霞ヶ浦高校）

「本物の世界」と生徒を結ぶ対話力を



5月3日の憲法フェスティバルに参加した。例年以上の参加者で音楽と踊りを見ながら、多くの方と交流し話すことができた。そして百里の赤飯を食べ、パンフを読んで、これぞ平和と嬉しかった。

最近、学校にも「対話と祭りの時代」がやってきた。大量で細切れの情報のなかで、逆に最近の高校生は教員に質問をすることが多くなった。そこには、大人が持っている「こだわり」はなく、本物を求め「質問する力」が高まってきた。マスコミなどで流れている事件や情報の本質まで遡ることのできる教員の「現代の教養」が求められている。これは、まさに本質的なことから平和を深めている平和委員会の時代である。

先日も英語の授業で、バングラディッシュのグラミン銀行のユヌスさんとネルソン・マンデラさんの英文の教材を読んだとき、私が「日本にもアフガニスタンで井戸を掘るすぐれた医者があるよ」と、中村哲さんの話をしたら良く聞いてくれた。

生徒はテキストの理解を超えて、もう一度深い説明や世の中のことで、そして「本物の感動と祭り」を求めているようだ。毎日の授業の「対話や問いかけ」が考える力をつけ、これが実は平和とつながっている。私は平和新聞を読みながら「本物の世界」と生徒と結ぶ対話力をつけたいと思う。

日本平和委員会第63回定期期全国大会

5月25日（土）～26日（日）

和歌山県で開催！

開催地：紀州南部ロイヤルホテル
 和歌山県日高郡みなべ町山内字大目津泊り348

※ 詳細は県平和委員会までお問合せください。

参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。